

2019年～2020年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～20年度 国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー 氏



日本昔自動車風景 ～一枚の絵はがきから～ (其ノ十八)
(文：高井 淳 氏 / 企画・製作：ノスタルヂ屋)

福島県福島市、高湯温泉と土湯峠間約29kmを結ぶ磐梯吾妻スカイライン。5年程の工期を費やし昭和34年11月開通したこの山岳観光道路は「山登りが出来ないお年寄りや子供達にも磐梯山周辺の景観を眺めて欲しい」という考えから造られました。木立の中を走る車は奇しくも美しい山並みにちなんだ名を持つスカイライン。昭和41年プリンス自動車と日産自動車の合併後のモデルのようです。

2019～2020年度(第62期 竹内年度)

7月第3例会プログラム

7月18日(第2990回)

VOL. 3

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 今期事業方針発表
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 理事・委員長
- SAA
- 出席委員会
- 会 長
- ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI (国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場：L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12：30～13：30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 竹内 崇 幹事 高橋 宏成

2019-20年度 第62期事業計画

飯山 孝之 会員組織委員長

事業計画

1. 創立70周年会員70名を実現するための、女性会員の増強と純増2名を目指す。
2. 本年度R Iテーマや地区スローガンを会員に周知徹底する。
3. 伝統と格式ある当クラブに相応しい会員の選考



委員長所見

各委員会の事業計画に基づき、会員増強・職業分類の充実と厳格な会員選考やR Iテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」の方針に基づき実践活動を行う。

円城寺 絃征 会員増強委員長

事業計画

1. 「会員数70名への足がかり。純増2名、女性会員の増強を」をテーマとします。
2. 地域社会との繋がりを大切に会員増強を行います。



委員長所見

女性会員の視点と若いメンバーのパワーを充分を發揮してゆきます。

小原 芳道 ロータリー情報委員長

事業計画

本年度R Iテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、地区スローガン「人、学んで更なる奉仕」をクラブ会員に周知し、この方針のもと当委員会の活動を行って参ります。



1. 会長方針に則り、会員にロータリー情報を提供する機会を増やす。
2. 新会員に入会時、オリエンテーションを実施し、ロータリー情報を伝え、会員としての責務、及び奉仕活動に関する情報を提供し、ロータリーの精神を理解していただく。
3. 入会3年未満の会員を対象にロータリーへの理解を深めるために、S T A R委員会 (Special Training for Action in Rotary) を年2回開催し、ロータリーの歴史、各種奉仕活動の内容等を伝え、同時に会員相互の親睦を深める会合を行います。

鶴田 一郎 クラブ管理運営委員長

事業計画

ロータリークラブは「クラブ」と名がついている通り、ロータリーメンバーとクラブが基本です。クラブ内活動を束ねるのがクラブ管理運営委員会です。それぞれの委員会がRI会長・2820地区ガバナー・クラブ会長の基本方針を基にロータリーの目標達成に向かいクラブ活動を行ってまいります。



1. 各委員会の計画を充実した活動にする。
2. クラブ活動による「メンバーの」「メンバー間の」親睦を図る。
3. ロータリアンが満足を得られるクラブ例会及び

プログラムを目指します。

4. クラブ活動の紹介や地域社会に対する貢献等の広報を通じて公共イメージのアップを図る。

委員長所見

各委員会の事業計画に基づき、クラブ活動を通じて各委員会が相互に補完し合いながらロータリーの目標を達成出来るように効果的かつ円滑な運営を各委員と共に進めてまいります。

高田 知己 出席委員長

事業計画

1. 例会の出席率100%を目指す。
2. 例会に欠席の場合はメイクアップの利用をしていただける様に働きかける。
3. 出席委員会メンバーは、例会場に早めに参上して、皆様を笑顔でお出迎えして、出席しやすい明るい雰囲気を作るように努める。
4. 地区等各種大会の出席率向上を目指す。
5. 欠席の多い会員の方に、出席推奨の連絡をする。
6. 前年度出席率100%の模範会員を表彰する。



委員長所見

ロータリーの理念や歴史を理解し、この背景を生かして出席することのロータリーでの意義、出席することがなぜロータリアンにとって大切なのかを学ぶ機会を設けて、出席委員会メンバーをはじめ、当ロータリークラブの文化として定着することを目指します。

出席が滞りがちな会員に対して、手紙などを通じて積極的に声掛けを行い、出席率の向上を目指します。

沼尻 大 親睦活動委員長

事業計画

会員相互の親睦を深めるための企画・協力をを行う。

1. 家族懇親会・忘年会・新入会員歓迎会等の開催
2. 誕生祝・結婚記念祝・入会記念祝等の実施
3. 例会運営のサポート
4. 各種同好会活動への協力
5. 地区・分区内の交流活動への協力



委員長所見

『奉仕』と『親睦』がロータリークラブを支える二本の大きな柱であります。

クラブをより強固なものにするためには団結力が重要であり、団結力を高めるためには会員相互の友情の構築がとても大切な要素です。

そして親睦活動をとおしてより効果的な交流を行い、明るい雰囲気づくりをすることが、退会者防止の一助となる、と考えます。

明るいクラブの未来を信じ、笑顔あふれる楽しい『親睦』を目指して率先して行動いたします。

佐藤 ぱうろ 公共イメージ委員長

事業計画

1. 例会での「ロータリーの友」の内容紹介（ロータリーの理解促進）
2. 「ロータリーの友」への投稿を促し、土浦RC名の掲載を目指す。
3. 「ロータリー情報館」、ホームページの活用。
4. 会員企業のメディアを通じて土浦RCの活動情報を発信する。
5. 各事業での写真等の記録とSNSへの投稿。
6. 地元媒体へのイメージ広告の掲載。
7. 公共イメージ向上につながる活動への参画。



委員長所見

当クラブでは従来、「雑誌・広報委員会」からの流れもあるのですが、対外発信よりもクラブ内発信に重きがあったと思います。一昨年（60期）から「公共イメージ委員会」と名称を変更しており、R Iの方針としても、当該委員会の役割として、一にも二にも対外発信によるロータリークラブの認知度向上・イメージアップを重視しているようです。

「ロータリーの友」紹介等のクラブ内発信は継続して行いますが、当クラブでも既にCICOを中心に取り組んでいるホームページやSNSの活用をさらに発展させるとともに、R Iのブランドリソースセンターの素材を活用したり、地域に広く親しまれている媒体へのイメージ広告の掲載等も検討します。公共イメージのアップは会員増強にも直結すると思いますので、土浦RCやロータリー全体の公共イメージの向上に努めたいと思います。

沼田 義雄 奉仕プロジェクト委員長

事業計画

1. 毎月の例会を通じ職業奉仕を奮起する。
 2. 秘湯の旅と職場訪問を年中行事化とする。
 3. 土浦市の行事に対し積極的に参加する。
 4. 霞ヶ浦運動公園の清掃活動への協力。
 5. 国際奉仕のホームページ「すぎな」への参加。
- 皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



委員長所見

2019～2020年R I会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であります。2820地区に於いてはスローガンを「人、学びて更なる奉仕」としております。

上記の方針に則り奉仕活動を全面的に推進して参ります。また、ロータリーの最大目標は奉仕活動であり、その目標に向かって実行性の高い奉仕の展開、魅力ある会員同士の融和をはかります。竹内会長方針のもと、4大奉仕部門は各委員長報告のとおり実行してまいります。

鈴木敏之 職業奉仕委員長

事業計画

1. 職業奉仕月間に職業奉仕に関する卓話を行う。
2. 土浦健康祭りで医療・介護相談奉仕活動を行う。
3. 秘湯の旅—職場訪問の企画。



委員長所見

1. 職業奉仕の理念を会員に理解していただけるように卓話、奉仕活動などを行う。
2. 恒例の秘湯の旅—職場訪問で魅力ある企画を立て、多くの会員に参加していただく。

河合 隆 社会奉仕委員長

事業計画

（環境保全）

1. 霞ヶ浦総合公園の藤棚の手入れと清掃活動。
2. イルミネーション事業の支援協力。
3. 市内クリーン活動への参加協力。

（人間尊重）

1. 児童養護施設「茨城県道心園」のクリスマスの集いに参加し、助成金を贈る。
2. かすみがうらマラソンのウォーキング部門へ参加、目録を寄付する。
3. 友好奉仕団体への資金協力。



委員長所見

ロータリークラブは、奉仕への調査研究機関であるとともに、地域の指導者であるロータリー会員に対する奉仕への訓練機関であるということを基に、地域に密着した奉仕活動を行っていきたい。

白田 恭士 青少年奉仕委員長

事業計画

ロータリーの青少年奉仕のスローガンは「各ロータリアンは青少年の模範」とあります。ロータリアンが青少年指導の資格を養い、青少年と接し共に活動し指導することで青少年の模範となります。

その計画実現のために以下を事業計画とします。

1. 土浦ローターアクトとロータリアンが協働して行う事業構築
2. 土浦ローターアクトへの各種支援
3. 地区青少年事業（RYLA等）への参加
4. 土浦市立図書館（アルカス土浦）への本の通帳寄贈

委員長所見

一部のロータリアンだけではなく、多くのロータリアンと未来のロータリアンであるローターアクトが積極的に交流できるような機会を創出したいと考えております。

また土浦市立図書館（アルカス土浦）で好評の小中学生対象の「本の通帳」サービスで、通帳を増刷する予定が今年度あります。土浦ロータリークラブ



が地区補助金を利用し「本の通帳」を寄贈することにより、青少年や親への土浦ロータリークラブの公共イメージを上げることができると考えております。

平島 隆之 国際奉仕委員長

事業計画

1. 台北陽明RCとの友好をより一層深め継続するために、5年に1度の姉妹クラブ再締結調印式（今回は台北陽明RCがホスト役）に向けて、委員会全員で開催協力する。



2. 台北陽明RCとパートナーシップを組み、グローバル補助金申請対象となる、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす国際的奉仕活動を実施する。

委員長所見

例年の訪台団関連予算に加えて、再締結調印式用の予算を上乗せして計上した。

また前回の訪台時に、台北陽明RCの国際奉仕委員長であるマック氏と口頭だが約束した台湾での乳がんの早期発見に寄与する奉仕プロジェクトへの協力予算として米ドルで\$1,000相当の予算を計上した。

土浦RAC 2019-20年度 クラブターゲット

2019-2020 年度 クラブターゲット 「One」

土浦RAC 会長 矢口 悟司

■ クラブターゲットの意味・理由など

2019-2020 年度では、つくば学園RAC 土浦南RAC の皆様と共同して例会等を開催して行きます。

その中で必要とされる「輪」を大切に同じ地域で活動する若者の力を「ひとつ」にしRAC の更なる発展や地域貢献をしていく事を基軸に本年度は活動して参ります。ひとりはおみんなの為に、みんなはひとりの為に、誰かひとりがやるのではなく全員が心をひとつに本年度活動して参ります。

■ 具体的な施策

- ・他クラブとの共同での例会開催
- ・RC との積極的な交流
- ・メンバー間での更なる親睦



平島会員が、米山記念奨学生 エーさんのミャンマーのご実家を訪問してきました。



ミングンのシンピューメ・パゴダにて

メイクアップ

- 7/13 ロータリー財団研究会 坂本
7/14 青少年奉仕研究会 白田

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
58名	19名	39名	2名	69.64%

例会予告

- 7月 25日 野球部 甲子園大会報告会
8月 1日 理事会(2)、会長挨拶、誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝、「ロータリーの友」紹介